

# いきものずかん

いきものずかん  
(執筆者 崎村 真優)

## 1. 団体説明

いきものずかんは、将来の自然環境を守る担い手を増やしていくために子どもたちが自然環境に興味を持ち、自然を好きになる機会をつくることを目的として活動している。主な活動は子どもを対象とした環境教育で、子どもたちと一緒に環境について考えている。小さな子どもでも理解しやすいように紙芝居やクイズ、折り紙などを使用して、楽しく学べる工夫をしている。他にも環境に関するイベントへの参加や姫路市の白浜海岸清掃など幅広く活動を展開している。

## 2. 2020年度の活動

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって、例年通り活動することが難しかった。そこで、感染症対策ができる新たな活動を考え、主に2つの活動を実施した。

1つ目は、紙芝居の読み聞かせ動画制作である。いきものずかんが活動で使用している紙芝居の読み聞かせ動画を制作した。これは、感染症の影響により子どもたちが自宅で過ごす時間が増えたことをきっかけに始めた活動である。これまでは、公園やイベントで紙芝居を用いた環境教育を実施してきた。しかし、自宅でも子どもたちに楽しみながら学んでもらいたいという想いで紙芝居の読み聞かせ動画を制作した。完全にオンラインでの活動のため、感染症の影響下にあっても活動することができた。制作した動画は、動画共有サイト「YouTube」にアップロードした。

2つ目は、海岸清掃である。姫路市にある白浜海岸の清掃を2020年9月から2020年11月まで毎月1回実施した。子どもたちに環境を守るための活動を教えるだけでなく、自分たちもその活動を実践したいという想いで始めた活動である。感染症の感染拡大により12月以降は中止とした。

他にも「第2回ひょうごユース eco フォーラム」など、オンラインで開催されたイベントへの参加もした。

## 3. 活動を通して学んだこと

活動を通して学んだことは主に2つある。

1つ目は、伝え方である。いきものずかんでは、自分たちが学んだ環境に関する知識を子どもたちに伝えなければならない。そのため、わかりやすい表現や楽しい学び方を考えながら活動している。

これは対面での活動に限らず、紙芝居の読み聞かせ動画を制作する際にも意識したことである。登場人物ごとに読み手を変えたり、雨が降る場面では雨の音をBGMとして入れたりして、楽しみながら動画を見てもらえるように工夫をした。

2つ目は、他の組織との交流の大切さである。2020年度の活動の多くは新たに始めた活動だったため、他の組織の方からアドバイスやサポートをいただくことが多かった。そのため、私たちは周囲の方々に支えていただきながら活動しているということを強く実感した1年だった。

## 4. 今後の展望

2020年度は思うように活動ができないことも多かった。しかし、感染症の影響下でも自分たちにできることをメンバーで考えて活動することができた。2020年度に始めた活動は、今後も続けていきたい。また、いきものずかんを支えてくださる方々への感謝を忘れずに活動を続けていきたい。今後も活動するなかで壁にぶつかる可能性があるが、メンバーで協力し、周囲の方々に支えていただきながら乗り越えていきたい。



図1: 9月の白浜海岸清掃の様子  
(出所) いきものずかん所属学生撮影



図2: 11月の白浜海岸清掃で収集したごみ(分別前)  
(出所) いきものずかん所属学生撮影